

1.2 河川の概要

水系を構成する日光川と10の一次支川を表-1に示す。

表-1 日光川水系の河川

河川名	日光川	野府川	光堂川	領内川	三宅川	目比川	蟹江川	福田川	善太川	宝川	戸田川
河川延長(km)	41.3	7.3	4.9	12.6	10.6	4.8	10.2	16.2	12.0	1.1	7.2
流域面積(km ²)	299.0 (88.3)	27.4 (22.1)	18.8	33.1 (28.5)	14.4	15.2	16.8 (14.6)	33.5 (31.2)	20.4	19.7	11.3

() : 支川を除く流域面積

日光川

日光川は河川の特徴から、上流部（二級河川上流端～野府川合流点）、中流部（野府川合流点～三川合流点（領内川、三宅川合流点））、河口・下流部（三川合流点（領内川、三宅川合流点）～河口）の3つに分けられる。

上流部は、概ね掘込河道で川幅は狭く、河床勾配は1/2,500～1/500であり、流れは中・下流部に比べ速い。河床材料は砂やシルトで、一部に礫も見られ、寄州が発達する区間もあるが単調な河道となっている。河道は最上流部を除き矢板及びコンクリートブロック護岸で整備され、沿川は住宅地と工場が広がっている。

中流部は、概ね有堤河道で川幅が広く、河床勾配は1/5,000～1/3,000であり、流れは緩い。河床材料は砂やシルトで、瀬や淵が見られない単調な河道となっている。20km付近の天王橋から23km付近の北今橋までは強制排水区域と自然排水区域が混在する。河道は矢板護岸で整備され、沿川は水田が多く、畑地が点在する。

河口・下流部は、概ね比高差3m以上の有堤河道で川幅が広く、河床勾配が水平～1/5,000であり、流れは緩い。河床材料は砂やシルトで直線的な河道となっている。昭和30年代後半から昭和40年代にかけて地下水の揚水に伴い地盤沈下が進行した結果、全域が海拔ゼロメートル地帯となり、ポンプによる強制排水を行っている。河道は矢板護岸で整備され、沿岸には水田が多く残されているが、近年徐々に都市化が進行している。河口部には高潮対策として、水閘門及び日光川排水機場等が整備されている。



写真-2 日光川上流部



写真-3 日光川中流部



写真-4 日光川下流部



写真-5 日光川河口

野府川

野府川は、一宮市木曾川町地内で右支川北古川を合わせ、一宮市三条地内で日光川に合流する河川延長約7.3km、川幅5～30mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されており、掘込河道で、沿川には主に市街地が広がっている。



写真-6 野府川

光堂川

光堂川は、稲沢市片原一色町地内で日光川に合流する河川延長約4.9km、川幅5～20mの河川である。河道は主に石積み護岸で整備されており、掘込河道で、沿川には主に水田や畑地が広がっている。



写真-7 光堂川

領内川

領内川は、愛西市町方町地内で右支川新堀川を合わせ、稲沢市平和町地内で日光川に合流する河川延長約12.6km、川幅5～40mの河川である。河道は主に矢板護岸で整備されており、河口から広口池（10.8km）までは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田、畑地が広がっている。



写真-8 領内川

三宅川

三宅川は、愛西市勝幡町地内で日光川に合流する河川延長約10.6km、川幅10～20mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されているが、自然が残されている区間もある。河口から約5.0kmまでは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田、畑地が広がっている。



写真-9 三宅川

目比川

目比川は、津島市宇治町地内で日光川に合流する河川延長約4.8km、川幅10～30mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されているが、自然が残されている区間もある。河口から約3.0kmまでは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。



写真-10 目比川

蟹江川

蟹江川は、蟹江町須成地内で左支川小切戸川を合わせ、蟹江本町地内で日光川に合流する河川延長約10.2km、川幅10～110mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されており、有堤河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。



写真-11 蟹江川

福田川

福田川は、大治町西條地内で左支川西條小切戸川を合わせ、港区新茶屋地内で日光川に合流する河川延長約16.2km、川幅10～110mの河川である。河道は主に矢板及びコンクリートブロック護岸で整備されており、河口から約12.8kmまでは有堤河道、それより上流は掘込河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。



写真-12 福田川

善太川

善太川は、蟹江町鍋蓋新田地内で日光川に合流する河川延長約12.0km、川幅10～100mの河川である。河道は有堤区間である下流部ではコンクリートブロック護岸、上流部が矢板護岸で整備されているが、中流部には自然が残されている区間もある。中上流部は掘込み河道であり、沿川には市街地や水田が広がっている。



写真-13 善太川

戸田川

戸田川は、名古屋市港区小川地内で日光川に合流する河川延長約7.2km、川幅40～80mの河川である。河道は主にコンクリートブロック護岸で整備されており、掘込河道で、沿川には市街地や水田が広がっている。

(平成23年4月より名古屋市が管理している)



写真-14 戸田川